



## みなもと小の児童に 身につけさせたい14つの力

- 1 人を大切にする力
- 2 自らの考えを持つ力
- 3 自分を表現する力
- 4 チャレンジする力

コロナの関係で1学期の行事がこの時期に来たこともあり、10月はたくさんの行事が行われました。本来ならば、この時期は晴天率が高く、とても良い季節なのですが、今年は寒い日が続き大変でした。しかし、子どもたちは、元気一杯。多少寒くても半そで短パンの子どももたくさんいました。今回は、10月に行われた行事を中心に伝えします。

### 5年稲刈りでにこにこサロンと交流

9月29日(水)に5年生が稲刈りをしました。田植えからずっと関わってくれたにこにこサロンのお年寄りの皆さんが、稲の刈り方を指導してくれました。にこにこサロンのみなさんの助けもあって、短時間で稲を刈り取ることができました。後日、昔の方法(千歯こき・足踏み脱穀機)を使って脱穀しました。



### 防災体験

10月5日(火)に防災体験教室を行いました。起震車体験や煙体験を行いました。本校は2016年度から、河川教育・防災教育に取り組んでおり、2018年には防災甲子園(全国大会)で特別賞も受賞しています。そんな歴史を背景に、今年度も取り組みを行いました。コロナ禍の中ではありましたが、2・4・5・6年生が起震車を使った地震体験と会議室に煙を充満させての煙体験を行いました。起震車体験では、震度7の地震の時にどんな状況になるか実際に感じる事ができました。また煙体験では、火事になり煙が充満すると身動きが取れないことや毒性のある煙ならばどうなってしまうか理解する事ができました。こういう体験は、もしもの時にはきっと役立つと思います。



### 3年醤油博士来校

3年生は、大豆を育て、大豆を使った食品の学習を行ってきました。その活動の一つとして、5日(火)に醤油博士を呼んで醤油の作り方や醤油の種類、いろいろな醤油等について学習しました。学校だけではできない授業です。こういう専門家の方に来ていただき、教えていただく活動をこれからも進めていきます。



### 6年陸上記録会

14日(木)、陸上記録会を八田小・白根百田小・白根源小の3校合同で、楯形陸場競技場で行いました。もともとこの3校は関係の深い学校です。3校で陸上競技を通して交流が図れたことはとても意義のあることだと思います。特に本校にとっては、6年生が14名という少人数なので、他校2校の110名の同級生と競技することは今後の中学校進学につながるものだったと思います。

この陸上記録会で、本校の6年生はとても良い結果を残すことができました。以下、3位以内に入った児童を紹介します。

男子60mハードル1位 小林澄空、男子ボール投げ2位 有野匠、  
男子走り幅跳び3位 櫻本光、男子100m2位 桃井陽、3位 櫻本健



女子ボール投げ1位 河西優奈、女子100m2位 深澤明愛、3位 堀田花蓮

### 教職員読み聞かせ

12日(火)と19日(火)朝の時間に、読書月間の活動として教職員の読み聞かせを行いました。先生方がそれぞれ学年にあった図書を読み聞かせしました。それぞれの先生の特徴が

出る面白い取り組みだと思えます。こういう活動を通して、少しでも子どもたちが本を好きになってくれると嬉しいです。ちなみに、私(校長)は6年生に、「はだしのゲン」の絵本を読み聞かせしまし

た。「はだしのゲン」は、私が小学校6年生の時に週刊少年ジャンプに連載されていました。この漫画を読みながら子ども心に、戦争の悲惨さとその悲惨な時代を生き抜いた子どもたちのたくましさを感じました。戦争のことを語ることができる人たちが少なくなりましたが、いつまでも子どもたちに語り継いでいく必要があると思えます。

### 2年校外学習 科学館

19日(火)2年生が校外学習として、県立科学館と甲府動物園に行きました。県立科学館ではグループごとに、いろんな科学的な体験をしました。また、空気の実験を見せてもらい、空気の不思議さに驚いていました。子どもたちは、実験が大好きです。まだ、理屈は難しいと思えますが、いろいろな事象を体験的に学び、不思議さに気づくことが大切です。今、理科離れが叫ばれる中で、たくさんの不思議・驚きを体験してほしいと思えます。



### 1・2年「源っ子むし歯ゼロ作戦！」

20日(水)源地区愛育班のみなさんが、1・2年生に歯の本の読み聞かせをしたり、歯ブラシのプレゼントをしてくれたりしました。源地区の子どもたちの虫歯をゼロにしようと、3年前から、愛育班による歯ブラシプレゼントは続いています。今年は、絵本の読み聞かせもしていただき、愛育班の皆さんの「地域の宝である子どもたちの健康を守りたい。」という、思いも子どもたちに伝えていただきました。本当にありがとうございました。この取り組みを山日新聞や白根CATV、中北教育事務所取材に来ました。

### 地域ふれあい道徳公開

21日(木)・28日(木)に地域ふれあい道徳公開を行いました。コロナの関係で密をさけるために、地区を2グループに分け、それぞれ別日に道徳の授業参観をしました。本来ならば、地域の皆様にも呼びかけ、一緒に道徳的な課題について考えていくべきですが、残念ながら、地域の皆様への公開は行わず、保護者の皆様への授業参観としました。今の道徳の授業は、昔のような価値の押し付けでなく、登場人物や出来事などについて、自分の考えを持ちたり、その考えを交流したり、みんなで考えて行く、「考える道徳」を行っています。また、この参観を利用して5年生は防犯SNS教室を行いました。5年児童と保護者が一緒にSNSに関わる防犯について、県教育委員会の小澤さんとKDDIの春園さんのお話を聞きました。このコロナ禍で、児童のゲーム依存度が高くなっています。買い与えた親の責任も課題となっています。

### 小中一貫あいさつ運動

25日(月)に御勅使中学校区小中一貫教育の一つとして、本校を卒業した中学生が来校して、児童会・生徒会の合同のあいさつ運動を行いました。中学生がリーダーシップを取って、大きな声であいさつをしたり、あいさつの良い子にカードを渡してくれたり、盛り上げる方法を考え取り組んでくれました。良いあいさつ運動になりました。

